

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

安城更生病院では、下記の臨床研究を実施しております。通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行う研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

初発再生不良性貧血に対する免疫抑制療法におけるエルトロンボパグ併用の有用性の検討

[研究の概要]

再生不良性貧血に対する免疫抑制療法(シクロスポリン+ATG)へのエルトロンボパグ上乗せの有用性を二次治療としての造血幹細胞移植の要否を観点に解析し、今後の治療介入の参考とすることを目的とする。

[研究の方法]

- 対象となる患者さん
再生不良性貧血の患者さんで、2009年1月1日から2020年5月31日の間にシクロスポリン+ATGの免疫抑制療法を受けた方
- 利用する検体、カルテ情報
検体：なし
カルテ情報：診断名、生年月、性別、身体所見、検査結果（血液検査、骨髄検査、使用薬剤、治療内容
- 情報の管理
情報は、研究代表者機関である安城更生病院にインターネット、または郵送にて提出され、集計、解析が行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、安城更生病院が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

- 研究代表者（研究の全体の責任者）：
安城更生病院 血液・腫瘍内科代表部長 澤正史
- その他の共同研究機関：別紙参照

[問い合わせ先]

公立陶生病院
血液・腫瘍内科 主任部長 梶口智弘
電話 0561-82-5101(代表)

共同研究機関名・研究責任者

愛知医科大学病院 血液内科	高見 昭良
愛知県厚生連江南厚生病院 血液・腫瘍内科	河野 彰夫
公立陶生病院 血液・腫瘍内科	梶口 智弘
国立病院機構名古屋医療センター 血液内科	飯田 浩充
小牧市民病院 血液内科	綿本 浩一
豊橋市民病院 血液・腫瘍内科	倉橋 信悟
名古屋掖済会病院 血液内科	小島 由美
名古屋市立大学 血液内科	飯田 真介
名古屋第一赤十字病院 血液内科	西田 徹也
名古屋大学 血液・腫瘍内科	寺倉 精太郎
藤田医科大学 血液・化学療法科	富田 章裕
岐阜大学 血液・感染症内科	兼村 信宏
岐阜市民病院 血液内科	笠原 千嗣
浜松医科大学 第三内科	小野 孝明
浜松医療センター 血液科	内藤 健助